

炭そ病に強く、水色優れる多収性品種。

つゆひかり



炭そ病に極めて強く、耐寒性にも優れ、樹勢の強い、やや早生品種です。品質は優秀で、とくに、色沢、水色が秀逸です。

品種の来歴と特徴

静岡県茶業試験場が「静7132」を母親、「あさつゆ」を父親として交配し選抜育成した品種で、平成12年に品種登録を申請しました。摘採期は、「やぶきた」より2日程度早いやや早生の品種で、樹姿は中間型、樹勢は極めて強く、新芽は芽重型で多収となります。摘採期の新葉は明るい淡緑色です。耐寒性は赤枯れに「強」、耐病性は炭そ病に「極強」、「もす病」に「や強」です。

品質の特性

色沢は明るい緑色で、さわやかな香気を有し、滋味は温和で調和がとれています。特に水色が優れ、きれいな緑色を示します。

栽培上の注意点

樹勢が強く芽重型になりやすいので、芽数を増やすような仕立てや整・せん枝が必要です。

普及および栽培適地

樹勢が強く、耐寒性、耐病性に優れるので地域適応幅が広く県下全域に適します。良質多収のやや早生種であるので、「やぶきた」との組み合わせ栽培に最適です。

苗木の入手方法

種苗法登録申請中であるので、県と許諾契約を結んだ者から購入することができます。県経済連が扱うので農協に申し込みしてください。

命名の由来

天然玉露といわれる父親の「あさつゆ」から「つゆ」をとり、静岡県茶業に光明を与える品種となることを期待して、「つゆひかり」と命名されました。



品種名	育成年	種苗登録の有無	育成場所	来歴	
				母親	父親
つゆひかり	2000	申請中	静岡茶試	静7132	あさつゆ

早晩性	樹姿	樹勢	収量性	品質			耐寒性 (赤枯れ)	耐病性 (炭そ病)
				色沢	香気	滋味		
やや早生	中間	極強	多	上	上	上	強	極強